

## 「(仮称) 岩手県スポーツ推進計画」の骨子(案)に係る現状について

大項目	中項目	No.	小項目	現状
1 生涯スポーツの推進	①スポーツ参画人口の拡大	1	スポーツに親しむ機会の充実	○週1回のスポーツ実施率(岩手県(県調査)、全国(国調査))は、別表参照 ○運動習慣割合(運動の実施頻度:週2日以上、運動の持続時間:30分以上、運動の継続期間:1年以上の全部に該当する者)は、20歳~64歳:27.7%、65歳以上:55.1%(全国:20歳以上の男性:35.1%、20歳以上の女性:27.4%)(H28)(県:H30.3月 健康いわて21プラン(第2次)中間評価報告書、国:H29.12月 平成28年国民健康・栄養調査報告) ○県民がスポーツ・レクリエーションに取り組む機会として、スポーツフェスティバル、各種教室等を開催((公財)岩手県スポーツ振興事業団委託、H29:参加者45,996人)
		2	総合型地域スポーツクラブの充実	○総合型地域スポーツクラブは、県内25市町村に58クラブ設置(H29会員数:12,470人)、創設準備中5市町村、未設置3市町村 ○広域スポーツセンターの設置、専任指導員の巡回訪問等によるクラブ運営等の支援を実施((公財)岩手県体育協会委託)
		3	スポーツを通じた健康増進	○スポーツ医・科学の知見を生かした講習会等を実施(H29:13市町村に30回講師を派遣、参加者2,653人) ○肥満者(BMI25以上)の割合は、40歳~60歳代女性で減少しているものの、20歳~60歳代男性では増加(H30.3月 健康いわて21プラン(第2次)中間報告書) 肥満者の割合(H24→H28) 20歳~60歳代男性:32.7%→40.0% 40歳~60歳代女性:27.2%→26.2% ○日常生活における歩行数は、女性で増加、男性で減少しているが、いずれも目標値(H34)に約2,000歩不足(H30.3月 健康いわて21プラン(第2次)中間報告書) 歩行数(H24→H28) 20歳~64歳:男性6,951歩→6,521歩(目標値:8,800歩)、女性6,449歩→6,502歩(目標値:8,200歩) 65歳以上:男性5,177歩→4,566歩(目標値:7,000歩)、女性3,901歩→4,351歩(目標値:5,700歩) ○(公財)健康・体づくり事業団登録の健康運動指導士:140人、健康運動実践指導者:207人(H30.5.1現在)
	②子供のスポーツ機会の充実	4	学校体育の充実	○1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、小5男子:3.5%、小5女子:6.0%、中2男子:3.2%、中2女子:10.6%(H29 全国体力・運動能力、運動習慣等調査) ○スポーツが好きな子供の割合は、小5男子:94.5%、小5女子:89.0%、中2男子:90.5%、中2女子:80.2%(H29 全国体力・運動能力、運動習慣等調査) ○子供の体力はゆるやかな上昇傾向にあるが、S60頃のピーク時と比較すると依然低い。(H29 全国体力・運動能力、運動習慣等調査) ○肥満傾向児(肥満度が20%以上の者)の出現率は、5歳~17歳の全ての年齢で全国平均を上回っている。(H29 学校保健統計調査) 小5(10歳):12.60%(全国:8.89%)、中2(13歳):12.01%(全国:8.09%)
		5	運動部活動の充実	○運動部活動加入率は、中学校(中2)男子:90.0%、女子:70.7%(H29 全国体力・運動能力、運動習慣等調査)、高校:61.4%(H29 (公財)全国高等学校体育連盟調査) ○スポーツ庁が策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(H30.3月)を踏まえた県の方針を検討中
		6	地域における子供のスポーツ機会の充実	○県スポーツ少年団登録数:1,100団体、団員数:22,726人(H29) ○総合型地域スポーツクラブでキッズスポーツ教室(10クラブ)、スポーツ少年団と連携したスポーツ活動(6クラブ)を実施(H29) ○トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室(小中高生対象)を実施(H29:76回、参加者3,118人) ○「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」を全33市町村の公立幼稚園、小学校及び中学校で実施(H29)
	③成人のスポーツ機会の充実	7	働く世代のスポーツ参画人口の拡大	○週1回のスポーツ実施率(岩手県(県調査)、全国(国調査))は、別表参照 ○20歳~64歳の運動習慣割合は、27.7%(H28)(H30.3月 健康いわて21プラン(第2次)中間評価報告書) ○全国健康保険協会岩手支部における「いわて健康経営宣言」事業登録事業者数:623社(H29)
		8	高齢者のスポーツ参画機会の充実	○週1回のスポーツ実施率(岩手県(県調査)、全国(国調査))は、別表参照 ○本県の高齢化率(65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合)は31.1%(全国:27.3%)(H28)で、高齢者単独世帯、高齢夫婦世帯が増加 ○65歳以上の運動習慣割合は、55.1%(H28)(H30.3月 健康いわて21プラン(第2次)中間評価報告書) ○岩手県民長寿体育祭の開催(H29:14競技、参加者3,406人)や、ねんりんピックへの県選手団派遣(H29:178人)の支援((公財)いきいき支援財団に対する補助) ○高齢者施設でトップ・プロスポーツチームによる高齢者スポーツ教室を開催(H29:16回、参加者318人)
	④スポーツに関わる多様な人材の育成・確保	9	地域スポーツを支える人材の育成	○県内市町村から委嘱を受けているスポーツ推進委員(H29:712人)が実技指導、スポーツ事業の企画・立案・運営等を通じて地域住民のスポーツ活動をサポート ○総合型地域スポーツクラブ(25市町村58クラブ)のスタッフが地域住民のスポーツ活動をサポート ○(公財)日協公認スポーツ指導者登録数:2,643人(H29)
		10	スポーツボランティアの養成促進	○(公財)岩手県スポーツ振興事業団及びトップ・プロスポーツチームによるボランティア養成研修会を実施(H29:24回、968人参加) ○県障がい者スポーツ大会にボランティアが参加(H29:参加者568人)
		11	スポーツ団体の組織強化等	○(公財)岩手県体育協会登録競技団体数:54団体(H29) ○市町村体育協会数:33協会(H29) ○県スポーツ少年団登録数:1,100団体、団員数:22,726人(H29) ○総合型地域スポーツクラブ数:25市町村57クラブ(H29) ○NPO法人県レクリエーション協会登録数:37団体、会員数:4,977人(H29)
		12	スポーツ功労者の表彰の実施	○岩手県文化スポーツ表彰を実施:個人9人(H29)
	⑤スポーツに親しむ環境の整備	13	地域スポーツ施設の有効活用・利用促進	○県内公立スポーツ(社会体育)施設:1,140施設(H29) ○河川や地域の公園などスポーツを実施できる「場」が存在 ○学校の体育施設(体育館)の開放実施校数:県立学校8校、小学校235校、中学校112校(H29 学校体育施設設置等状況調査)
		14	県有スポーツ施設のストックの適正化	○県営運動公園、県営体育館など9つの県営スポーツ施設を設置 ○県営スポーツ施設について、(公財)岩手県スポーツ振興事業団等に管理を委託

大項目	中項目	No.	小項目	現状	
2 スポーツを通じた共生社会の実現	⑥障がい者スポーツの推進	15	障がい者のスポーツ参画機会の充実	○県障がい者スポーツ大会（H29:参加者1,955人）、各種スポーツ教室（H29:参加者959人）、障がいの有無に関わらず参加できる競技体験会等（H29:参加者554人）を実施（（一社）岩手県障がい者スポーツ協会委託） ○全国障害者スポーツ大会に県選手団を派遣（H29:90人）（（一社）岩手県障がい者スポーツ協会委託） ○各特別支援学校において、体育の授業を中心としてフライングディスクなどのスポーツを実施 ※参考：障がい者の週1回以上のスポーツ実施率（全国（国調査））は、7～19歳:29.6%、成人:20.8%（H29）	
		16	障がい者がスポーツに親しむ環境の整備	○障がい者スポーツ指導員:256人（初級185人、中級63人 上級8人）（H29） ○（一社）岩手県障がい者スポーツ協会にスポーツ振興推進員を設置（H29:3人） ○県内の障がい者スポーツ団体:県域1団体、市町村域1団体（H29） ○県内公立スポーツ（社会体育）施設は1,140施設あるが、バリアフリー化に対応していない施設も存在	
	⑦高齢者スポーツの推進	17	高齢者のスポーツ参画機会の充実（再掲）	○週1回のスポーツ実施率（岩手県（県調査）、全国（国調査））は、別表参照 ○本県の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は31.1%（全国:27.3%）（H28）で、高齢者単独世帯、高齢夫婦世帯が増加 ○65歳以上の運動習慣割合は、55.1%（H28）（H30.3月 健康いわて21プラン（第2次）中間評価報告書） ○岩手県民長寿体育祭の開催（H29:14競技、参加者3,406人）や、ねんりんピックへの県選手団派遣（H29:178人）の支援（（公財）いきいき支援財団に対する補助） ○高齢者施設でトップ・プロスポーツチームによる高齢者スポーツ教室を開催（H29:16回、参加者318人）	
		18	スポーツを通じた健康増進（再掲）	○スポーツ医・科学の知見を生かした講習会等を実施（H29:13市町村に30回講師を派遣、参加者2,653人） ○肥満者（BMI25以上）の割合は、40歳～60歳代女性で減少しているものの、20歳～60歳代男性では増加（H30.3月 健康いわて21プラン（第2次）中間報告書） 肥満者の割合（H24→H28） 20歳～60歳代男性:32.7%→40.0% 40歳～60歳代女性:27.2%→26.2% ○日常生活における歩行数は、女性で増加、男性で減少しているが、いずれも目標値（H34）に約2,000歩不足（H30.3月 健康いわて21プラン（第2次）中間報告書） 歩行数（H24→H28） 20歳～64歳:男性6,951歩→6,521歩（目標値:8,800歩）、女性6,449歩→6,502歩（目標値:8,200歩） 65歳以上:男性5,177歩→4,566歩（目標値:7,000歩）、女性3,901歩→4,351歩（目標値:5,700歩） ○（公財）健康・体づくり事業団登録の健康運動指導士:140人、健康運動実践指導者:207人（H30.5.1現在）	
	⑧スポーツを通じた女性の活躍推進	19	女性のスポーツ参画機会の充実	○週1回のスポーツ実施率（岩手県（県調査）、全国（国調査））は、別表参照 ○女性の運動習慣割合は、20歳～64歳:25.9%（男性30.0%）、65歳以上:50.9%（男性60.7%）（H28）（H30.3月 健康いわて21プラン（第2次）中間評価報告書） ○W杯等を転戦する女性トップアスリートが存在（H29:4人）	
		20	女性がスポーツに親しむ環境の整備	○女性の（公財）日本スポーツ公認スポーツ指導者（競技別指導者資格）登録者数:499人（県全体2,280人）（H29） ○女性の県スポーツ推進委員数:212人（県全体712人）（H29） ○県体協加盟の33市町村体育協会における女性登用:副会長1人、事務局長1人（H29） ○県体協加盟の54競技団体における女性登用:副会長14人、専務理事・理事長2人、事務局長5人（H29） ○キッズスペースを設置している総合型地域スポーツクラブが存在	
	3 競技力の向上	⑨アスリートの発掘・育成	21	次世代アスリートの発掘・育成	○平成19年度からいわてスーパーキッズ発掘・育成事業を実施（H30在籍者数:159人、H29迄の修了生:267人、オリンピック出場:1人、国際大会出場:4人、国民体育大会出場:累計71人） ○中高生で国際大会を転戦する次世代アスリートが存在（H29:3競技3人）
			22	国内外で活躍するアスリートの育成	○いわて国体・いわて大会に向けた選手強化等により、オリンピックなど国際大会で活躍する選手が増加（2016リオ夏季:オリ2人、パラ1人、2018平昌冬季:オリ5人、パラ5人） ○第72回国民体育大会順位:天皇杯第14位、皇后杯第12位（H29） ○ジャパンパラ競技大会出場者数:陸上5人、水泳3人、スキー2人（H29）
23			アスリートが競技生活を継続できる体制の整備	○H25年度から学生アスリートの就職支援（いわナビ）を実施（H29迄の累計実績:222人） ○H29年度から（公財）岩手県体育協会において、オリンピック出場を目指すトップアスリートを雇用（H29迄の累計雇用:3人、うち1人が県内企業に就職）	
24			スポーツ優秀選手の表彰	○「岩手県スポーツ賞」を実施（H29:35件）	
⑩競技力向上を支える人材の育成		25	指導者の資質向上	○（公財）日協公認指導者登録数:2,643人（競技別指導者資格2,280人、フィットネス資格114人、メディカル・コンディショニング資格112人、マネジメント資格137人）（H29） ○障がい者スポーツ指導員:256人（初級185人、中級63人 上級8人）（H29）	
		26	アスリートのサポート人材の育成	○（公財）日協公認:アスレティックトレーナー（AT）23人、スポーツドクター78人、スポーツデンティスト7人、スポーツ栄養士4人（H29） ○日本スポーツ心理学会認定メンタルトレーニング指導士:2人（H29） ○岩手国体を契機に本県独自でいわてアスレティックトレーナー（IAT）を養成:67人（H29）	
⑪競技力向上を支える環境の整備		27	スポーツ医・科学、情報等を活用した支援	○AT、IATを国体や各種大会、練習会に派遣し、選手の競技活動をサポート（H29:AT10人14競技、IAT32人26競技） ○選手の体力測定・分析、トレーニングメニューの提供等実施（H29:8競技16回） ○スポーツ栄養、メンタル等に関する研修会の開催（H29:17競技団体）	
		28	競技団体の組織強化等	○（公財）岩手県体育協会加盟団体（国体種目）:41団体（H29） ○競技団体強化責任者:41人（H29） ○競技団体監督数（国体）:120人（H29）	

大項目	中項目	No.	小項目	現状
4 スポーツを通じた地域活性化の推進	⑫スポーツを活用した地域づくりの推進	29	スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進	○H29.10月にいわてスポーツコミッションを設立（構成団体：60団体） ○市町村域のスポーツコミッションは3団体（盛岡広域、花巻市、北上市） ○トップ・プロスポーツチームが3チーム存在：グルージャ盛岡（サッカーJ3リーグ）、岩手ビッグブルズ（バスケットボールB2リーグ）、釜石シーウェイブスRFC（ラグビートップチャレンジリーグ）
		30	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした人的交流の推進	○オリ・パラホストタウン登録：9市町村 ○事前キャンプの誘致決定：3市 ○ラグビーワールドカップ2019™の開催都市の1つに釜石市が決定 ○ラグビーワールドカップ2019™の公認キャンプ地に内定：4市
	⑬スポーツを活用した経済の活性化	31	大規模イベントやトップ・プロスポーツと連携した市場開拓等への支援	○本県開催が決定している大規模イベント：2件（クライミング・アジア選手権2020、2020年全国高校総体（ハンドボール、卓球）） ○「東京2020大会飲食提供に係る基本戦略」において「将来につなげていく取組」とされているGAPの県内における認証取得状況：グローバルGAP2件、アジアGAP1件、JGAP9件
		32	スポーツビジネスの創出・拡大	○県内にスポーツ関連企業が存在（トレッドミル、パラアイスホッケー用具、スポーツ・健康機能性食品、スポーツウェア製造など） ○岩手発・超人スポーツの取組：H28に4競技、H29に3競技を考案

【別表】週1回以上のスポーツ実施率

区分	岩手県 (県調査)						傾向	区分	全国 (国調査)	
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度調査				
10代 (調査対象外)	男性	—	—	—	—	—	—	10代	男性	67.5%
	女性	—	—	—	—	—	—		女性	58.8%
	全体	—	—	—	—	—	—		全体	63.3%
20代	男性	55.1%	61.1%	55.8%	65.5%	62.3%	↗	20代	男性	54.3%
	女性	42.9%	33.2%	44.3%	51.2%	53.6%	↗		女性	45.4%
	全体	48.8%	47.6%	50.0%	58.3%	57.9%	↗		全体	50.0%
30代	男性	49.2%	51.0%	45.7%	63.1%	57.7%	↗	30代	男性	49.9%
	女性	34.0%	39.7%	37.1%	48.2%	51.2%	↗		女性	40.7%
	全体	41.3%	45.3%	41.4%	55.7%	54.4%	↗		全体	45.4%
40代	男性	36.9%	51.1%	48.7%	57.1%	55.3%	↗	40代	男性	46.4%
	女性	39.8%	43.3%	39.2%	44.0%	55.3%	↗		女性	37.8%
	全体	38.4%	47.4%	43.9%	50.6%	55.3%	↗		全体	42.2%
50代	男性	44.6%	51.2%	50.8%	53.0%	62.9%	↗	50代	男性	45.5%
	女性	43.2%	50.3%	51.1%	48.8%	61.7%	↗		女性	45.4%
	全体	43.9%	50.8%	50.9%	50.9%	62.4%	↗		全体	45.5%
60代	男性	63.6%	67.3%	65.0%	66.7%	72.3%	↗	60代	男性	56.0%
	女性	61.6%	66.7%	64.1%	70.8%	73.6%	↗		女性	60.5%
	全体	62.6%	67.0%	64.5%	68.8%	72.9%	↗		全体	58.4%
70代	男性	73.1%	74.3%	72.2%	73.2%	76.5%	→	70代	男性	71.1%
	女性	62.0%	71.3%	62.1%	69.6%	73.5%	↗		女性	71.5%
	全体	67.6%	72.8%	67.3%	71.4%	75.0%	↗		全体	71.3%
全体 (成人のみ)	男性	51.6%	57.3%	54.8%	63.1%	64.5%	↗	全体 (成人のみ)	男性	53.0%
	女性	45.1%	48.0%	48.0%	55.5%	61.5%	↗		女性	49.9%
	全体	48.3%	52.8%	51.4%	59.3%	62.9%	↗		全体	51.5%

※ 国調査における都道府県別の結果は非公表